

論  
說

# 更生的大調査の時代

—道路の改良を基調とせよ—

田川大吉郎

一

現内閣は、近く、國策審議會を設置せらるゝ相である。組織の内容は、私には未だ分らないけれど、至極大規模のものゝ様に傳へられる。例へば、その期間にしても、ほとんど無定期の、長期のものとし、従つていづれの内閣の盛衰存亡にも關係なく、超然として、それらの利害得喪の外に立ち、そして、協定し得たる資料、主義、方針もて、その時々の内閣に移牒し、勧言し得る公平にして有力、確實のものたらしめん

意圖であると傳へられる。

且、それは、その一端に止まる。此より先き經濟審議會といふ說もあり、内閣審議會といふ說もあつた。そして、五相會議の如きもあり、それに準する各省大臣次官を首班としての會議は、多過ぎる程各省に出来て居た。この度の會議は、それらを、局部的、偏小、無爲の採るに足らざるものと爲し、或は廢し、或は合し、擇擇して、大規模の綜合的一機關と爲すものであると謂はるゝのである。

## 二

日本に於て、かゝる計畫の噂ある折柄英國では、ロイド・ジョージが略ぼ、これと同様な大調査機關を設定せんことを主張しつゝある。

ロイド・ジョージは、傑出した政治家に相違ないにしても、(一)彼は既に老ひて居り、一旦は隠居を聲明した人であり。(二)その自由黨は、既に分離して萎縮した。(三)且、かれは野黨の一員として、實行力が乏しいのであるから、その提案が何う成り行くであらうかの見當は着き兼ねるけれど、しかしながら、その要求する所は、

- 一、内閣の中でも、特に、重要な位地に在る五大臣を選んで、特種の調査會を設くること、
  - 二、その性質と組織は、あたかも、大戰中の軍事内閣の如く強力のものならしむること。
- それに、若干の各種委員會を附設するは勿論のことである。

三、その調査會は、主として失業問題を調査する。英國には、現に二百萬人の失業者があつて、一年約十億圓、十年に既に百二十億圓もの費用がかゝつて居る——この調査會の内容は私には未だ分つてゐない——それを、生産上、何の助けにもならない。たゞ、彼等失業者の生存の支持のため支出されて居るのである、それよりは、この巨資を何等かの新事業に投じ、彼等をして就職の口を得せしむべきでないか、何等かその新事業はないか、それを發見することが英國の産業上、社會上の大問題である、現在の悩みを救ふ最上の途である。

と申すのである、そしてそれは岡田内閣の審議會の設置と、趣意に於ては兎も角、組織に於ては相類して居る。

英國では、同調査會とは別に、全國の水利並びに水量に關する根本的調査に既に着手した。昨年一昨年の二年つゞきの旱魃にこりぐゝ、しこの調査の必要を感じるに至つたのであるが、これに因て、水力を如何に利用すべきかと共に、河水の氾濫より来る他の反面の害をも調査し豫防せんとするのである。それは次に述べる米國のそれと同じく、自然に道路堤塘の改築にまで、次から次へと好影響を及ぼすものである。されば英國は、この時を機とし、それらの大調査を遂げ、將來の英國のため抜本、塞源的大事業を完成せんと志すに至つたのである。

英國のことばは、カナダに直通する。カナダの首相ベンネットが、大規模の經濟調査會を新に建設すべしと提唱して居るのは、その一端と見らるる。但、商務大臣ステーヴンスは、此より先き、資本家獨占

の弊を指摘し、労働大衆の利益を保證する政策を立てねばならないと主張して、ベンネットと衝突し、辭職して一大人氣を博して居る、ベンネットの今回の提案は、それらに對する選舉對象であらう。彼の本心からの主張ではあるまいと私は見る、しかしそれは別問題である、頑固な保守家と稱せらる、ベンネットにして尙この提案を爲すに至つた所に、カナダの今日の政情を見、又、世界の趨勢の變化を見る譯である。

## 三

前者の考案よりも、既に數歩を進めて實際的に、且、一層大規模なのは、米國の全國的資源の維持開發に關する三十年計畫である。

それを專門的に調査する一機關は既に成立してゐて、その調査は早く終了したのもあり、未だ終了しないものもあるが、大體に於て、期限は三十年資本は、一千億ドル、一ドルを日貨三圓に換算すれば、約三千億圓、一年に百億圓づゝを、資源の開發維持のため、それに必要な事業の建設のため投ぜんとするのである。正に、全世界に亘つての比類なき大計畫、經濟的發展を主とした合理的調査であり工事であり、又施設であらう。(最初の十年内に、その半額を消費せんとするので、外に公共的諸種の工事を必要のあり次第、相關聯せしめて建設する計畫や、その一年の經費は、豫備費を合せて約三百億圓にのぼらうと云はれ、そして大統領は、その全部に對し既に概括的許諾を示して居るといふ。)

一、それは第一に、水力電氣の設備を、遍ねく最高限度に建設せんとするのである。

二、河水の氾濫と、同浸蝕とを虞れ、それを防止せんとするのである。若し防止しないと、次の數十年間に、巨大的の地域が浸蝕され、沙漠に化する虞れがあると専門の技師達は憂慮して居るらしい。

三、右の内、ミスシツビー河流域の改修計畫は既に發表せられ、その工事費は二十億ドル、内、十億ドルを、水電設備費に、他の十億ドルは、氾濫浸蝕の防止、及び通航上の施設に費され、その水電工事の結果例へば、附近の二百萬家族は現在、電燈、電力利用等の惠に未だ浴し得ないで居るのであるが、それに由つて始めてその恵に浴し得らるゝことになる。

勿論、その効用は、たゞそれだけに止まらない、その方面に在る大小幾多の電力事業を統一するが如き亦その一である。

四、農業地域とは稱しながら、全然不毛の地域が少くない、それらは不毛の地域として農業地域から削除し、利用の一方法として現時の國立公園風の建設をするその區域は數百萬町を下らない。五、市、縣、國の全部に亘つて公衛の改革、建築の必要がある、それらを順序を追ひ、建設し、整備すること。略ぼ此の如くにして、それはロシアの五年計畫、十年計畫に頗る類似して居るので、或は、それからヒントを得來つたものかと謂はれつゝある、いよいよ進展の上は、中央部局に五名の經濟率事員を擧げ、一切をその指導に委すこと、調査局は推奨して居るのである。

## 四

その他にも、これらに類した事例はある、しかし、それを一々問ふまでもなく、一般的の傾向は既に分る。世界の各國は、現在の世態に、何といふかいはゆる行き詰りの不安と悩みを痛感し、例へべ卵の「から」を破つて、生れ出でんとする鶏の如く、今や更生せんとしてその轉出伸展の方法を求めつゝあるのである。

そして、既に現れた改革革新の方案が、いづれも經濟機構の改造を目的として居ることは、各國とも概して同様である。

とは云へ、それにも種類があつて、いづれの方法が、尤も實行的妥當性を帶びて居るかは、固より未だ明瞭でない、彼等は口癖の如く、資本主義の打破を叫びつゝあるが、それも如何様に打破し、進出するのであるか分らない。米國のルーズベルトは、その打破的改造の意圖があつた様であるが、今は現資本家銀行事業者等と妥協すべく後退的態度を取つて居る、そして後退的態度を取つて居る者は、獨りルーズベルトに止まらず、ロシアのレニンも然であつた。今日のスターリンは尙更然である、ドイツのヒットラーも同様のこと、彼は、舊資本家の群に擁せられて、今日の政治を行つて居る英國は現に保守派の政府——その實際から見て——いはゆる健全政策、健全通貨の下に、依然たる舊派の經濟政策を取つて居り、そして着々回復しつゝ成功しつゝあると信じて居る、それ故いはゆる資本主義の打破、打

破的改造の計畫が、どの程度に、どの様にして進行せらるゝであらうかは、今日のところ、さっぱり分らない。

日本に現れたるいはゆる統制經濟論は、滿洲國との關係に於て當然である。ある程度まで實行の可能性がある、國內の問題としては、一部經濟論者の主張するに止まり、未だ實行力を有する實際政治家、實業家の問題となつてゐない、なつてゐるかも知れないけれど、それは表面化してゐない、評判された陸軍關係のパンフレットも、たゞその一部の人々の懷抱に止まる、その不自然な發表に止まる、決して大臣、次官等首腦部の懷抱する所でも、主張する所でもないといふ程度であつて見れば、これも亦、未だ實際問題として取扱はるべき域に達してゐないものゝ一部に過ぎない。

しかしながら現状には何か不安がある不足がある、缺陷も目に着くから、そこで改革、革新の工夫を講ずる調査會、大調查會が必要となるのである、私の目には、各國は、齋しく大調查に着手したと見えるそして日本もそのお多分に洩れず、大調查の仲間入をするに至つたと思はるるのである。

そして、これから何を調査し出すか、未だ分らないけれど、前記の調査會及びその他で、大凡察せらるその大體の傾向は、

### 一、水電事業の普及である。

二、河川流域の整理、その氾濫の防止、それに伴ふ道路堤塘の改良並びに擴張である。

### 三、住宅の改良である。

四、農業地の開發である。

五、公共的建築物の整備である。

六、生活の向上である。

七、銀行の國營である。

以上の中三四以下のことはこゝに述べなかつたけれど、それが大體の傾向であることは改めて

述べなくも明瞭である、各國の改革計畫は一致してこの方向を目指して居る。

それ故に、その方向はいづれも土地の改良開發、從つて道路の改良開發を基礎として居る。

## 五

そこで私は申す、この更生的躍進を期して組織せらるゝ大調査會の内にも外にも設定せらるるを機とし、我が道路計畫もその主要の調査事業の一として將來のため抜本塞源的思ひ切つた徹底した、百年遺憾なき大計畫を立つるに努力すべきであると言ひ換ゆればこの時を機とし、日本の道路建設に關する百年の長計を立つべきである、それを大調査會の主要の調査事項と爲すべきであるそれを爲さしむべく注意し、努力すべきであると。

斯く私が切言するわけは英、米と互角の競争を爲さん爲めである。彼等が斯く爲さんとする時、我等も彼等に對する同等の計畫を立て我が國民をして、彼等と同等の足場に立ち得さする基礎的準備

を爲すことが必要と信ずるからである。勿論彼等はこの際巨額の費用を投じて、大々的に道路を改良すると發表してゐない——英國は申して居るとも謂へる——しかしながらこゝに述べた以上の荒い筋だけでも彼等が道路の改良に力を注ぎつゝある用意の一斑は既に窺はるゝのである。

一昨年我が道路政策の新なる發足として『今後二十ヶ年に亘り七億七千六百二十五萬圓(國費六億二千六百六十六萬一千圓、地方負擔金一億四千九百五十八萬九千圓)を支出し以て道路を改良するの必要ありと認む』に當る改良計畫の策立せられたことは、本誌の殊に満足せられた所であつたが、今日の世界の趨勢に照して思へば斯の如き計畫は、尙々過少に失しはしないか、世界はもつと大規模にけた外れの躍進計畫を立てつゝあるのである。日本も然せねばなるまい、それでなくては追隨ができるまい、對抗ができまい、まして超乗することはできない、私は必らずしもこれを國策審議會に限らないが諸種の更生的調査機關の設立せられつゝある此の際、日本はその道路政策に於て更に一段の大躍進をしなければならないと謂ふのである。私は前年立てられた計畫が、より根本的に國家の建て直しを目指として増修せらるゝに至らんことを望むのである。

例せば、日本の鐵道にしても、道路にても軍用の目的を主として計畫せられたそれ故に私は、それに沿ふて一般交通の發達を圖る軍用道路として開發せられたそれを一般の目的のためにも利用すべきであると論じて來た。しかし、今日に於ては私は言ひたい、軍用の目的の分は、軍用の目的の分として維持し、一般の利用に差支へない程度それは勿論一般のためにも利用せらるゝがいゝが、それと

は別に、一般商工用のため、専用せらるべき道路を廣く全國に亘つて選定し建設すべきであらう。専らその方面の目的から適當の道路を選定し建設することに計畫を建て直すべきであらう、それに何億何十億の經費がかかるかは専門家の調査を待つべきこと、私には何等の豫測もつかない所であるが既に年々二十一二億の歲計を立て、百億以上の公債を有し、それに堪へ得らるゝ國家、それ以上の歲計をも立てねばならない必要のあり、計畫のある國家として、産業の基礎を据へ經濟の發展を謀る國家百年の長策としての道路計畫に、從來以上のそれに數倍した費用を投することは何でもないこと、何よりも先きに爲さねばならない大切なことであらうと信ずるのである。

農業と商工業の發達、そして軍事上の豫備、それは皆交通に關係のことである。道路の建設を根本の要件とするものであることは申すまでもない。私は日本の更生を期待する、その最大の要件として道路の大改良を主張するに過ぎない、そのためには必要な資料を再點検せられ更生的躍進の時代に應する準備に遺憾なからしめられんことを希望する。